

保育所児童保育要録（様式の参考例）の見直しの方向性（案）

○ 要録の意義・目的や、日々の記録の重要性について、様式上に記載してはどうか
※検討の整理1-(1)に関連

○ 子どもの育ちに関わる事項
入所してからの保育所生活全体を通して、子どもの育ってきた過程を踏まえ、最終年度における保育の過程と育ちの姿を理解する上で特に重要と考えられることを記載する
※検討の整理1-(2)に関連

○ 養護（生命の保持及び情緒の安定）に関わる事項
⇒保育における養護と教育の一体性を踏まえ、教育（発達援助）に関わる事項と統合する
※検討の整理1-(1)に関連

○ 子どもの健康状態等
⇒個人情報の取扱いに留意しながら、特に小学校へ伝えたい事項について、特記事項として記載する
※検討の整理1-(3)に関連

○ 教育（発達援助）に関わる事項
・養護に関わる事項と統合
・主に最終年度（5、6歳）における1年間の保育の過程と子どもの育ちについて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮し、子どもの生活や遊びにおける姿を捉えて記載する
・保育の過程とその中での子どもの育ちが明確となるよう「年度当初に全体的な計画に基づき長期的な見通しとして設定したこと」「その子どもの保育に当たって特に重視してきたこと」を追加する
※検討の整理1-(1)(2)に関連

保育所児童保育要録				【様式の参考例】	
ふりがな		性別		就学先	
氏名	氏名	性別		就学先	
保育所名及び住所	保育所名、所在地	生年月日		生年月日	
保育期間	平成 年 月 日 ~	保育期間（入所及び卒所年月日）			
子どもの育ちに関わる事項					
子どもの育ちに関わる事項					
養護（生命の保持及び情緒の安定）に関わる事項			（子どもの健康状態等）		
養護（生命の保持及び情緒の安定）（子どもの健康状態等）に関わる事項					
教育（発達援助）に関わる事項					
項目	教育（発達援助）に関わる事項				
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 				
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。 ・社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。 				
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に親しみ、自然に触れあう中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 				
表現	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士や友達と心を通わせる。 ・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ・生活の中でイメージを豊かにし、さまざまな表現を楽しむ。 				
施設長名	施設長名・担当保育士名				(印)

入所に関する記載

保育に関する記載

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を新たに記載
※検討の整理1-(1)に関連

○ 記載についての留意事項
※検討の整理1-(2)に関連

※ 「子どもの育ちに関わる事項」は子どもの育ってきた過程を踏まえ、その全体像を捉えて総合的に記載すること。
※ 「養護（生命の保持及び情緒の安定）に関わる事項」は、子どもの生命の保持及び情緒の安定にあ替わる事項について記載すること。また、子どもの健康状態等について、特に留意する必要がある場合は記載すること。
※ 「教育に関わる事項」は、子どもの保育を振り返り、保育士の発達援助の視点等を踏まえた上で、主に最終年度（5、6歳）における子どもの心情・意欲・態度等について記載すること。
※ 子どもの最善の利益を踏まえ、個人情報保護に留意し、適切に取り扱うこと。